

新年度のスタートにあたって

社長 CEO
沖津 雅浩



本日より2025年度がスタートします。皆さん、今年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

1. 2024年度の振り返り

昨年度、当社は3年ぶりの年間黒字必達を目標に、全社一丸となって業績改善に取り組んできました。その結果、詳細はこれから集計しますが、最終利益は黒字となる見通しであり、本業の儲けを示す営業利益も、第3四半期決算で上方修正したように、順当な着地となるものと考えています。

また、当社は過去2年連続で公表値を大幅に下回るなど、管理力に大きな課題が残りましたが、今期は全社を挙げてリスクや変化の早期把握、迅速な対応に努めた結果、月次の業績見通しと実績との差が着実に縮まりつつあり、こうした日々の努力が今回の結果に繋がったものと考えています。

さらに、最重要経営課題の「アセットライト化」も、概ね決着を迎えつつあります。具体的には、約1年に亘る交渉を経て、3月14日に、ソフトバンク社との間でグリーンフロント堺の土地及び建物の一部譲渡に関する契約を締結しました。さらに、KDDI社との交渉や、SFLの譲渡に関する鴻海との交渉についても、契約の最終段階に入っています。

このように、昨年度は、皆さんの懸命な努力のおかげで、期初に掲げた重点目標をしっかりと有言実行できた1年となりました。皆さん、一年間本当にお疲れさまでした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2. 再成長に向けて

当社は構造改革の一年を乗り越え、今年度から“再成長”へと舵を切ります。

具体的方針については、現在、中期経営計画の最終化を進めており、改めて皆さんにお話しする機会を設けますが、収益の源泉である“ブランド事業”に重点的にリソースを投下し、成熟事業から持続的成長が実現できる事業体へと革新していきます。さらに、“技術”や“人”への投資も拡大し、将来の飛躍に向けた確かな成長基盤を構築していく考えです。

そして本日、こうした取り組みを早期に具体化していくべく、中期経営計画の公表に先立ち、事業推進体制の見直しを行いました。

詳細については3月19日に発表した内容を確認いただきたいと思います。これまでの3つのブランド事業を、AIoTの世界観を早期に実現し、「暮らす」の領域で新たな価値創造を目指す“スマートライフビジネスグループ”と、

AIやIT、通信技術を融合し、「働く」の領域で新たな価値創造を目指す“スマートワークプレイスビジネスグループ”の2つに再編するとともに、両ビジネスグループ長が当該グループの成長戦略に専念できる体制を構築しました。

また、マネジメントチームについても、グローバルでの新規販路開拓に責任を持つCBDO(Chief Business Development Officer)と、DXの推進に責任を持つCDO(Chief Digital Officer)を新たに配置するとともに、両ビジネスグループ長をCo-COO(共同Chief Operating Officer)に任命することで、それぞれの役割を明確化しています。

加えて、SAS、SBS、MCBの3つの事業本部では、若い新たなリーダーに事業本部長を担当していただくこととしました。

繰り返しになりますが、2025年度からの当社のテーマは「再成長」です。新たな体制のもと、シャープグループの総力を結集し、私たちの未来を切り拓いていきましょう。

3. 最後に

本日、2025年度入社式を開催し、402名の新たな仲間を迎えました。入社式では、私から新入社員の皆さんに、「先輩から学び、そして先輩を追い越す仕事をするという気概を持って業務に励んでいただきたい」などのメッセージをお伝えしました。先輩社員の皆さんには、新たな仲間を温かく迎え入れ、指導・育成に努めるとともに、彼らの挑戦を力強く後押ししていただくことを期待しています。

最後になりましたが、当社は本日から新たなステージへと歩みを進めます。決して容易な道のりではありませんが、昨年一年間を乗り越えてきた皆さんと共にであれば、必ず再成長を成し遂げ、シャープを復活させることができると確信しています。これからも全社一丸となって頑張りましょう！